

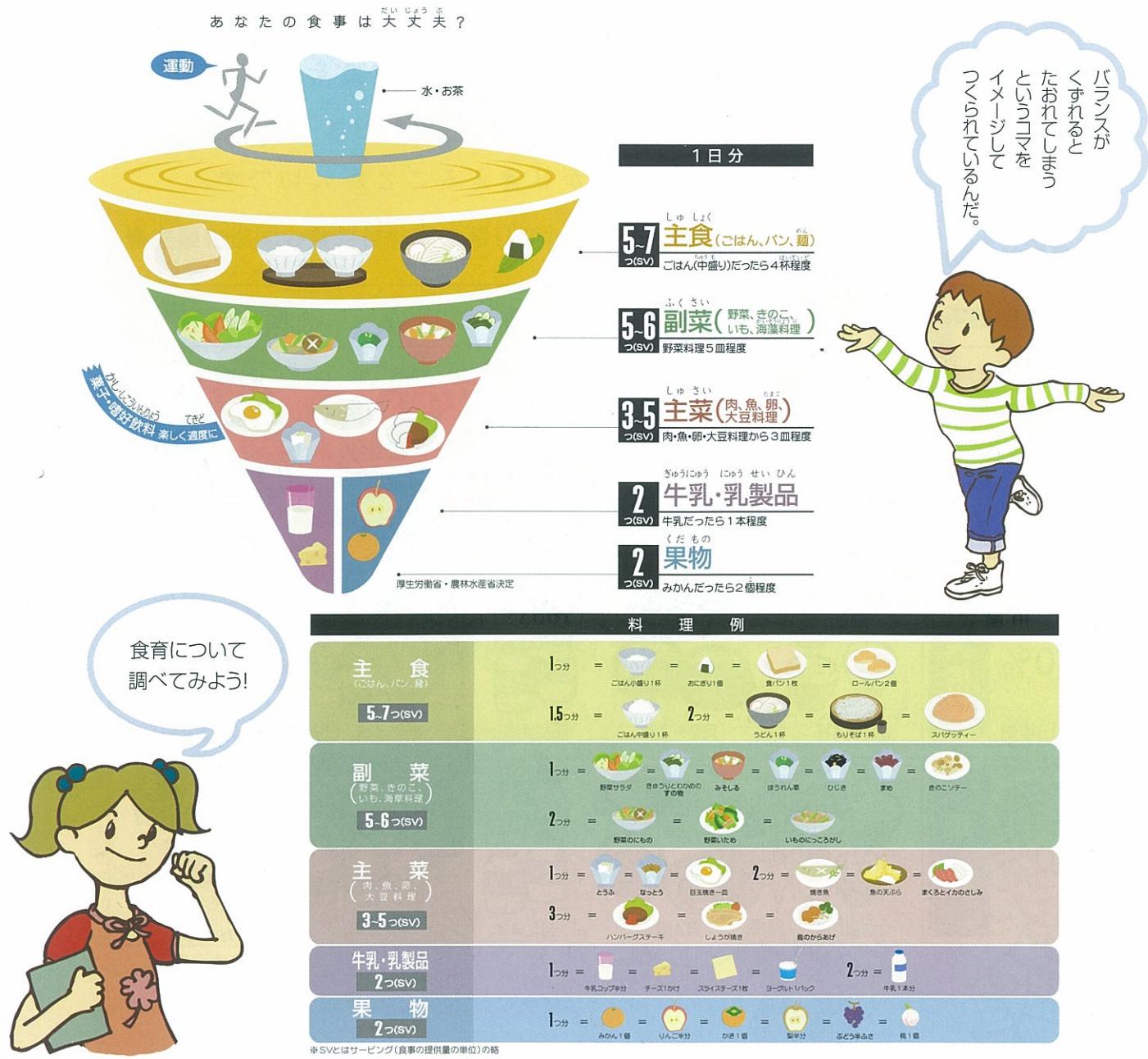
(6) 食育(しょくいく)

家族みんなでする毎日の食事は、健康な体をつくるだけでなく、食事の作法や自分たちの町や村の歴史を学んだりすることにも役立ちます。

最近は、食事の大切さを学び、食事のとりかたや、食べ物の種類、食べる量などについて自分で考え、選ぶ力を持つための「食育」への取り組みが、地域や学校で進められています。

また、バランスのよい食生活を送るために1日に「何を」「どれだけ」食べたらしいのかを示した「食事バランスガイド」がつくられました。

食事バランスガイド



(7) 農業や農村のいろいろな役割 やくわり

食べ物をつくることだけが、農業や農村の役割ではありません。日本の伝統文化をつくり、国土を守り、わたしたちに安らぎをあたえてくれます。また、鳥や虫、魚など多くの生き物がくらす場所でもあるのです。

農業や農村が、食べ物をつくる以外に果たしているたくさんの役割、これらを「農業の多面的機能」といいます。

田んぼや畠は、大雨の時にいったん雨の水をためてから、少しづつ流し、下流の人たちを洪水から守っています。また、土砂くずれを防ぎ、鳥や虫など生き物のすみかにもなっていて、環境や生態系を守っているのです。

ほかにも、生ゴミなどを肥料にもどしたり、夏の暑さをやわらげるなど、農業や農村は、わたしたちの生活にとって必要ないろいろな役割を果たしているのです。

● 農業や農村がもっているさまざまな働き

